
君は青くなった

夢太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君は青くなつた

【Nコード】

N8412J

【作者名】

夢太

【あらすじ】

君が突然死んだ。

青い海が好きな君に会いに行くよ。

(前書き)

誰もいない静かな海。

雲一つない空。そんな綺麗な景色を思い浮かべて読んでほしいです。

「青いなあ。」

こんなにも言葉が見つからないとは思わなかった。

こんなにも大きな存在だとは思わなかった。

正解は無いのかもしれないけど、それでも……。

‘動’と‘静’の境目がこんなにぼんやりしてるとは思わなかった。もっとゆっくりだけど明確に感じ取れる物だと思ってた。そばで笑ったり泣いたりも出来なかった。

雲一つ無い日に君は逝った。

それはもう突然で、進行していた病気でもなく事故でもない。

前触れも無く君は逝った。

準備とかしたかったなあ。どっちにしても心は時間に追いつかないだろうけど。

それでも思い出を君と語る時間とか欲しかったし、せめて君の最後の言葉を覚えておきたかった。

どうでもいいような会話が最後だったから覚えて無いんだ。

心臓が休んでしまった。休憩して、さあ頑張ろうか！とはならない。休憩したら最後なんだよ。わかってた？

君は頭はよかったけど、肝心な事知らないからなあ……。きっと疲れてたから休みたかったんだよね。そんな事になって気付けなかったんだ……。

当たり前前に君がいて、僕はおかしくなってたのかな？

君は海が好きだったよね。だから会いに来たんだ。

きつとさ、そこにいるんだらうけど、好きすぎて君も青くなっちゃったんだね。

僕は視力が悪いからさ、君が見えないや。

砂浜に足跡つけてよ。波から逃げて笑ってよ。声を聞かせてよ。

ここにいろよって知らせてよ。僕を呼んでよ……。

君の物は全部置いてるよ。捨てようと何度も思った。

好きな人を見つけて恋をして君を忘れて家庭を築こうって思ったよ。

こんなに僕を辛くさせて！ってちよつと恨んだりしたよ。

全部捨てれば君を少しでも忘れられるって思った。

だけどさ、心が君を覚えていたって言うんだ。

全部置いてるわけじゃない。捨てれないんだ。笑っちゃうだろ？

あれから君は何も言わないけど、僕はこんなんでいいの？

もう君に会いに行きたいとしか思えない僕でいいの？

私の事は忘れて。って言わないの？ねえ。

死んでもまだ自分を想えっていうんだね。自分勝手すぎるよ。

だけど、忘れてって言われて、忘れられるわけないし、君が好きだし。

隣で座ってる青い君はきつと笑ってるよね。

うじうじすんなよ！って頭をくしゃくしゃに触ってるよね。いつもみたいに。

そんでさ、やめろよ！って君の手を払いのけるんだよね。その時の君のいたずらに笑う顔が好きだったんだよ。ねえ……。くしゃくしゃにしてよ……。これで最後でいいから……。

あー、視力が悪いからか、目に涙がたまってるからなのか、空と海

の境目がわかんないや。

もう行っておいで。海を泳いで空へ。

僕はもう少しこっちにいるよ。

海と空がこんなに綺麗だって知っちゃったから。

そっちに行くとき、海は見えても空は見えないだろ？

次は僕が意地悪をする番だ。

海に来る度に君に言うよ。

「空と海はとっても綺麗だよ！」って。

バイバイ。大好きだよ。

いつもより涙がしょっぱいや。

(後書き)

一気に書きまして、その気持ちをそのまま出したかったので、あまりがなく読みづらかったと思います。

それでも、読んでいただきありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8412j/>

君は青くなった

2010年10月17日06時30分発行